

評価細目の第三者評価結果

1 共通項目

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-1 (1) 理念、基本方針が確立されている。		第三者評価結果
	I-1-1 (1) -① 理念が明文化されている。	A
	I-1-1 (1) -② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 岐南さくら南保育園のパンフレット、ホームページ、保育課程の冒頭・保育計画や文書・おたよりに「愛情いっぱいの保育」と「笑顔」と明示されている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-1-1 (2) 理念や基本方針が周知されている。		
	I-1-1 (2) -① 理念や基本方針が職員に周知されている。	A
	I-1-1 (2) -② 理念に基本方針が利用者等に周知されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 集会で園長が伝えるだけでなく担任が参観日などの連絡事項の後に必ず「愛情いっぱいの保育」をしますと言葉を添え安心と信頼を得ている。職員は理念が分かりやすく伝えやすいと感じている。送迎用玄関にも掲示し誰の目にも付くようにしている。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		

I-2 事業計画の策定

I-2-1 (1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者評価結果
	I-2-1 (1) -① 中・長期計画が策定されている。	A
	I-2-1 (1) -② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 民営化されてから4年目に入り更に施設の拡充充実を含めた児童福祉ニーズにあった中・長期計画を策定している。計画は施設の拡充、人材育成など地域の未来を見据えて計画をしている。 28年度は、町から委託される2つの保育園の開園に加え、障がい児受け入れ施設の開設を予定している。</p> <p>改善できる点/改善方法：</p>		
I-2-1 (2) 事業計画が適切に策定されている。		
	I-2-1 (2) -① 事業計画の策定が組織的に行われている。	A
	I-2-1 (2) -② 事業計画が職員に周知されている。	A
	I-2-1 (2) -③ 事業計画が利用者等に周知されている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 前年度の事業計画を元に作成している。中・長期計画を踏まえ事業担当者が立案し統括官と園長が協議し、全職員で確認、策定している。前年度から継続の事業は、全職員で年度末に見直している。会議時に統括園長・園長が話題に出し職員は周</p>		

知、理解している。入園当初に園長が保護者に説明をしている。
改善できる点／改善方法：

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者評価結果
	I-3-(1)-① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	A
	I-3-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 職員会議に理念、基本方針、ビジョンを話し その中で園長の役割と責任を表明している。防災関係、福祉全般、労務関係など法令についても職務分担表において園長の責任を表明している。年度初めに全職員と確認をとっている。通知なども職員や回覧でその都度知らせている。必要があれば保護者にも知らせている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
	I-3-(2)-① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	A
	I-3-(2)-② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育の質の向上のために統括園長と園長は意思を統一し取り組んでいる。常に『愛情いっぱいの保育』をしているか園長自ら保育士に問いかけ、保育士も『愛情いっぱいの保育』をしているか確認しながら取り組んでいる。自己評価、保育日誌の他、書き方から全てに目を通しコメントを入れたり励ましの言葉をかけたりして職員一人ひとりの意欲に繋げ質の向上に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者評価結果
	Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A
	Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	A
	Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査が実施されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 法人の運営委員会で経営上の改善課題を話し合い見直し、法人全体の経営状況を捉えている。常に役場・県庁・社協に出かけ事業関係の情報、民間保育園連盟の研修や通達など情報把握に努めている。経営、運営について職員会議にも議題に上げ全</p>		

職員への周知に努めている。経営経理に公認会計士等の監査が実施され経営の透明性と課題発見と改善への取り組みに努めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２ 人材の確保・養成

Ⅱ－２－（１） 人事管理の体制が整備されている。		第三者評価結果
Ⅱ－２－（１）－①	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A
Ⅱ－２－（１）－②	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	A

良い点／工夫されている点：

県の人材育成事業を受け、潜在保育士の掘り起こしと育成を手がけることで園内研修の充実を図っている。職員配置は園児の年齢を考慮し、余裕を持った配置をすることで、個々の職員の勤務時間などの負担の軽減に繋げている。職員の経験等を配慮したチームの組み合わせでスキルの伝授にと整えている。人事考課については園独自の記述方法で自己評価を行い面接で確認分析している。仕事にやりがいを持てるよう評価の結果で昇格や特別手当を支給している。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２－（２） 職員の就業状況に配慮がなされている。		
Ⅱ－２－（２）－①	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A
Ⅱ－２－（２）－②	職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A

良い点／工夫されている点：

毎月の勤務表を作成し勤務状況の把握をし、リフレッシュ休暇をとりやすくしている。職員の年休取得率は高く誕生日休暇も取り入れている。統括園長、園長は職員と常に話し合い意向の把握に努めている。

改善できる点／改善方法：

Ⅱ－２－（３） 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
Ⅱ－２－（３）－①	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A
Ⅱ－２－（３）－②	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	A
Ⅱ－２－（３）－③	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A

良い点／工夫されている点：

新人から中堅までの年間の研修計画を作成している。研修は「社会人としての心構え」を始め公開保育、手作りおもちゃ作り、また姉妹園との交流研修など様々な分野に亘り実践力を高めるように取り組んでいる。外部研修も積極的に参加し研修後は復命と報告書レポートの提出をし、職員会議で報告をしている。個別の職員の個別の教育や研修の計画と実行に取り組んでいる。職員の頑張りを認め「頑張り給」特別給付制度を設けている。

改善できる点/改善方法：		
II-2-（4） 実習生の受入れが適切に行われている。		
	II-2-（4）-① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	A
良い点/工夫されている点： 近隣の大学からの実習生を積極的に受け入れている。指導はマニュアルに従い、体制を整え取り組んでいる。実習開始時にオリエンテーションを行い、期間に合わせた指導をしている。		
開始改善できる点/改善方法：		

II-3 安全管理

II-3-（1） 利用者の安全を確保するための取組が行われている。		第三者評価結果
	II-3-（1）-① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	A
	II-3-（1）-② 災害時に対する利用者の安全確保のための 取組を行っている。	A
	II-3-（1）-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	A
良い点/工夫されている点： 各種の災害訓練計画を策定しマニュアルを基に毎月訓練を行っている。防火訓練は消防署の協力を得て訓練を行い、指摘等があれば早急に改善している。訓練後の職員会で訓練について話し合い確認している。災害時緊急メール配信を整備し、保護者に一斉メール配信で知らせている。ちょっとしたことをヒヤリハットに記録し、事故になったところは事故報告書に記録し全職員で検証し事故の起きやすい場所を再確認し事故防止チェック表を作成し活用している。危険箇所に注意を払い安全確保のリスク検証を行いながら実践している。感染症には蔓延しないよう全職員が理解し手洗いや処置を適切に行うことで予防に努めている。感染のおそれがあれば、その都度保健師が保護者にも知らせ協力を求め予防への啓発をしている。毎月保健師が、保健便りを発行し季節の健康な生活について知らせている。		
改善できる点/改善方法：		

II-4 地域との交流と連携

II-4-（1） 地域との関係が適切に確保されている。		第三者評価結果
3	II-4-（1）-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A
	II-4-（1）-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A
	II-4-（1）-③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A
良い点/工夫されている点： 地域との絆は強く、地域住民の畑を提供され老人クラブや住民が手入れに訪れたり、菊の栽培・作物の収穫を共に行ったりと関わりの機会は多くある。町主催のマ		

<p>ラソン大会に職員、園児も参加し大会の盛り上げに一役かっている。園行事などに地域ボランティアの協力を得て、子どもの育ち・社会との繋がりや関わりの体験を積ませていきたいとしている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		
<p>Ⅱ－４－（２） 関係機関との連携が確保されている。</p>		
4	Ⅱ－４－（２）－①必要な社会資源を明確にしている。	A
	Ⅱ－４－（２）－② 関係機関との連携が適切に行われている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 地域・公民館・姉妹園と協力し地域の子育て機関として保育や運営に活かしている。園のために協力してもらえる地域の人材を掘り起こし、協力依頼し保育に活かしている。姉妹園の療育施設や子育て支援センター・医療機関、児童相談所との連携で発達や子育てについて常に相談を受ける体制ができている。町役場と連携をとり設備や事業の充実、拡充について相談をしている。町のマラソン大会に園児・職員も参加し園としても協力の姿勢を示している。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

Ⅱ－４－（３） 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者評価結果
	Ⅱ－４－（３）－① 地域の福祉ニーズを把握している。	A
	Ⅱ－４－（３）－② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	A
<p>良い点/工夫されている点： 姉妹園の子育て支援センターへ出向いて訪れた未就園児親子との交流時に保護者から育児の悩みや相談を受けている。地域の福祉ニーズは一番身近な保護者から把握することが多く、療育の必要な子どもの教室設置や、病児、病後児保育は姉妹園の岐南さくら保育園で受け入れ系列の園同士で対応しニーズに応じている。</p>		
<p>改善できる点/改善方法：</p>		

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ－１ 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ－１－（１） 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者評価結果
	Ⅲ－１－（１）－① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	A
	Ⅲ－１－（１）－② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A
<p>良い点/工夫されている点： プライバシー保護や守秘義務について、職員各自の意識を高め共通認識を持つよう研修を行っている。職員会議でも時々話題に出し、確認しあっている。また、ホームページやブログ等の写真には特に注意を払っている。</p>		

改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（２） 利用者満足の上昇に努めている。		
	Ⅲ－１－（２）－① 利用者満足の上昇を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>普段の送迎時に子どもの様子を伝えたり家庭での様子を聞いたりして信頼関係を築き、意見を言いやすい関係作りに努めている。また、行事毎にアンケート調査を行い行事や保育に関する感想や意見を聞いている。いつも笑顔で接することで話しやすい雰囲気作りに心がけている。保護者からの要望などには全職員で話し合い検討し、改善や保育の見直しなどで日々の保育に反映している。アンケート結果は改善策と共に保護者に知らせている。利用者アンケートに要望が取り入れられ、行事等に反映され嬉しいとの意見がある。</p>		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ－１－（３） 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ－１－（３）－① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	A
	Ⅲ－１－（３）－② 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A
	Ⅲ－１－（３）－③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>登降園時に保護者と顔を合わせ、常に子どもの様子についてささいなことでも伝え合い、信頼関係を築いている。早朝保育、延長保育などで、直接話せない場合は出席ブックにメモや手紙を挟んだりして必ず連絡を取るようになっている。保護者からも手紙を利用することも有り、相談や意見が述べやすい体制ができている。内容によって保護者全体・個別対応と対応の方法を考慮工夫している。苦情については常に職員の共通の理解と周知を徹底している。苦情解決のポスターや苦情箱が玄関に設置され苦情解決の体制がポスターに張り出され、担当者が分かるように記されている。利用者アンケートにも話しやすい、相談にのってもらえるなど安心に繋がる意見が多かった。</p>		
改善できる点/改善方法：		

Ⅲ－２ サービスの質の確保

Ⅲ－２－（１） 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。		第三者評価結果
	Ⅲ－２－（１）－① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	A
	Ⅲ－２－（１）－② 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	A
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>保育の内容について、目標や課題などを掲げ達成の見直しを全職員で行い保育に反映している。豊誠会独自の記述式の自己評価を年２回行っている。今回の第三者評価も自らの保育を振り返るきっかけとし、専門性の向上や保育の改善に努めている。</p>		

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－２－（２） 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果
Ⅲ－２－（２）－①	提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	A
Ⅲ－２－（２）－②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	A

良い点/工夫されている点
 保育課程に基づいて年次毎の、年間の保育計画・毎月の指導案・週案を作成している。職員会議、週案打ち合わせ等の会議で職員共通の認識の基、保育を実施している。週案の検討時に保育の評価見直しを行い次に繋いでいる。保育課程・年間指導計画は、年に一回見直しを行い改善している。

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－２－（３） サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ－２－（３）－①	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。	A
Ⅲ－２－（３）－②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A
Ⅲ－２－（３）－③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A

良い点/工夫されている点：
 指導計画に沿った保育の記録、保育日誌・児童票や個別の記録など丁寧に記録している。日誌は園長が点検しコメントを入れて保育士の意欲の向上を図っている。職員会議で園児個々の状況を課題として出し、子どもの育ちの確認を全職員で共有している。入職時に個人情報の保護や守秘義務の遵守を誓約書で確認し、職員研修（社会人としての心構え）で周知している。個人情報の管理は、鍵がかかる棚の中に保管している。子どもの記録の保管、保存については、規定に基づいて行っている。

改善できる点/改善方法：

Ⅲ－３ サービスの開始・継続

Ⅲ－３－（１） サービス提供の開始が適切に行われている。		第三者評価結果
Ⅲ－３－（１）－①	利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
Ⅲ－３－（１）－②	サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A

良い点/工夫されている点：
 常時パンフレットを準備し、園に訪れた保護者にパンフレットを配布したり、役場・保健センター窓口にパンフレットを置いたりホームページでも園の情報の提供をしている。姉妹園で実施している一時預かり、病時・病後時保育、育児相談の利

<p>用者にもその時々にも園の情報提供に努めている。入園時にも岐南さくら南保育園の理念・方針・保育目標などこれからの保育を文書と口頭で説明している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ－３－（２） サービスの継続性に配慮した対応が行われている。</p>		
	<p>Ⅲ－３－（２）－① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>	<p>A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 他の保育園への変更、他園からの変更の場合、保育の継続性に配慮し、引継ぎや申し送りをして子どもの生活が安定して他園へ継続出来るようにしている。他園からの転園にはアセスメントなどの情報を前園から収集し子どもや保護者の不安の解消と保育の継続性に努めている。保護者のニーズに応じ、保育サービス終了後も保護者からの依頼があれば園長が相談に応じている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

Ⅲ－４ サービス実施計画の策定

<p>Ⅲ－４－（１） 利用者のアセスメントが行われている。</p>		<p>第三者評価結果</p>
	<p>Ⅲ－４－（１）－① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。</p>	<p>A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 定められた家庭の状況調査票で、入園時に生育暦や家庭状況の確認をしている。それ以外でも家族の就労の変更や家庭状況に変化があれば速やかに児童票に記録の書き加えなど反映している。就労や家庭状況の変化などの情報は日々の会話や連絡メモ、個別懇談などで把握している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ－４－（２） 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。</p>		
	<p>Ⅲ－４－（２）－① サービス実施計画を適切に策定している。</p>	<p>A</p>
	<p>Ⅲ－４－（２）－② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。</p>	<p>A</p>
<p>良い点／工夫されている点： 年齢の発達を踏まえた保育計画を作成している。年間指導計画、月の指導計画、週の指導計画を策定し、計画に基づいて日々の保育を実施している。計画の見直しは、記録を基にクラス担当保育士で話し合い、保育を振り返り評価し見直しを積重ね、指導計画に反映している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

評価細目の第三者評価結果
(児童分野 保育所)

評価対象Ⅳ 保育所保育の基本
Ⅳ－１ 養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１）保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	A
<p>良い点／工夫されている点： 理念・保育指針「愛情いっぱいの保育」に基づき、Ⅰ子どもの発達援助・Ⅱ子育て支援・Ⅲ地域の住民や関係機関との連携・Ⅳ運営管理、の４つの基本方針のもと、発達過程を踏まえ、年齢毎の養護と教育のねらい・保育の内容に重点を置いた保育課程を作成している。保育課程は園長、主任が原案を作り、年次担任の職員参画のもと見直し作成している。年度末に実践をふまえ見直しと改善をしている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（２）乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 乳児保育は姉妹園「岐南さくら保育園」にて実施。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（３）１・２歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： １・２歳児は姉妹園の「岐南さくら保育園」で実施。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（４）３歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育士の適切な言葉掛けや見守りにより、生活に落ち着きが見られる。廊下や室内には様々な廃材や自然物などの素材・ガムテープ・クレパス・はさみなどの用具を準備され、子どもが主体的に遊びに取り組んでいる。保育士手作りのダンボール製大型玩具が保育室に作成されており「先生が作ったよ」と子ども達の自慢になっている。</p> <p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－１－（５）小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	A

<p>良い点／工夫されている点： 子どもの授業体験や学校見学を行い、子どもの育ちが学校の生活や学びに繋がられるよう就学前に学校と懇談を行っている。今後、保育から学校教育に繋げて行くよう更に学校との連携を強め、園の保育内容を見直し高めて行きたい希望がある。</p>
<p>改善できる点／改善方法：</p>

IV-2 環境を通して行う保育

	第三者評価結果
<p>IV-2- (1) 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 保育士の「愛情いっぱいの保育」を実践し適切な接し方により、子ども達との信頼関係が築かれ落ち着いて生活や遊びに取り組んでいる。用具、用品を子どもが取りやすい場所にきちんと整理されている。また様々な素材（自然素材のどんぐりや空の菓子箱等）を準備し、子ども達の創造豊かな活動に繋げている。明るい保育室、廊下、トイレは、チェックシートの活用で掃除が行き届き清潔な環境にして子ども達が気持ちよく使用している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2- (2) 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 日々の遊びや生活の中で基本的な生活習慣が身につけられ、子どもが活動に入りやすいよう折々の声掛けや、用具を使いやすい位置に準備するなど心がけている。生活習慣の習得には個々の段階に応じ焦らないよう見守りと援助を行っている。運動遊びや身体活動を積極的に取り入れる為、担当職員が研修を受け実践に生かしている。冬の戸外運動遊びの中で特にマラソンを取り入れ、町主催のマラソン大会に園児・職員も参加している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2- (3) 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 様々な素材や玩具が子どもの手が届く位置に配置され、子どもの遊びを引き出すような環境を整えている。子ども達が友達との関係を結びながら遊びに取り組めるよう保育士は見守り、常に環境を整えている。保育士手造りの大型玩具のシステムキッチンやドクターイエロー新幹線など、子ども達の遊び用環境として活用している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>IV-2- (4) 子どもが主体的に身近な自然や社会とかがかわれるような人的・物的環境が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 地域住民が園の畑でサツマイモ栽培や野菜づくりを子どもと一緒に作業をしたり、園の活動に積極的に関わっている。他に野菜や鉢植えの菊の花などが地域住民から届き、子ども達は花が咲くまでの水やりをする役割り・育てる喜び・収穫の喜びを地域の方との関わりの中で味わっている。</p>	

できる点／改善方法：	
IV-2-(5) 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育士は日々の生活の中で、年齢に応じて自分の気持ちを言葉で表現し、相手の話を聞きことばのやり取りを楽しめるよう援助している。子どもには丁寧な言葉で接し、毎日、絵本の読み聞かせ・おはなしなど豊かな言語の環境作りに努めている。素材を使用した創作活動には廃材、クレヨン等の用具を自由に使えるよう配置している。年次に応じて環境を整え子どもの興味関心を引き出す工夫をしている。年長児には、専門講師による習字を取り入れている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

IV-3 職員の資質向上

IV-3-(1) 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園独自の記述式の自己評価を年2回行い、自分の保育を振り返る事で実践に反映している。今回の第三者評価も、保育士が主体的に評価について年次ごとや全体で話し合い保育の見直しを繰り返し実践してきた。また項目を確認し自らの保育を見つめ直してきた。</p>	
改善できる点／改善方法：	

評価対象V 子どもの生活と発達

V-1 生活と発達の連続性

V-1-(1) 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員のクラス配置を考慮し、子ども一人ひとりの状態に応じた「愛情いっぱい保育」に取り組んでいる。子どもや保護者とのコミュニケーションをきめ細かく取りあい、信頼と安心感を深め、穏やかな見守りと適切な言葉掛けにより子ども達は安心して自己の力を発揮して遊んでいる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-1-(2) 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>姉妹園に療育ルームを設置し専門職員を配置している。療育ルームの職員と連携をとり障がいのある子どもが安心して生活できる環境の整備をしている。保護者と連携を密に取り担当職員が相談を受けている。また職員会議で話し合い、全職員が共通理解を持ち障がい児を含めた保育の実践に繋いでいる。</p>	

改善できる点／改善方法：	
V-1-(3) 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	A
<p>良い点／工夫されている点： 長時間、延長保育は、異年齢の子どもが安心できる家庭的な雰囲気の保育室にし、楽しく過ごせるよう配慮をしている。また職員体制を整え、保護者に安心と信頼を得られるよう配慮している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-2 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

V-2-(1) 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。	第三者評価結果
	A
<p>良い点／工夫されている点： 入園時に家庭調査票で生育暦を確認し既往歴、予防接種などの情報を把握している。その後の接種や、毎日の健康状態の変化を常に担任は送迎時に保護者と直接会話で情報交換している。朝の登園受け入れ時に、健康状態の確認を行っている。また降園時には、園での一日の様子を保護者に伝えている。子どもの健康に変化があった場合は園長、主任への報告、連絡、相談を行い保護者に伝えるなど対応している。伝達が必要な事案は職員会議等で職員にも伝えている。子どもの健康に関する保健便りを保健師が作成し保護者へ配布をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
V-2-(2) 食事を楽しむことができる工夫をしている。	
<p>良い点／工夫されている点： 調理室がガラス越しに見え調理室から漂う匂いで五感を刺激している。玄関に今日の給食の内容や産地を展示し、保護者の安心と関心を引いている。園の畑で育てたトマトや野菜も給食に取り入れ食べる喜びを味わっている。</p>	
V-2-(4) 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	A
<p>良い点／工夫されている点： 園医による健康診断・歯科検診結果は文書で保護者に伝えている。保護者は検診結果により、かかりつけ内科医・歯科医を受診し、担任に結果報告する。担任は、それを児童票に記録し次年度に申し送りしている。受診結果は園長、担任が把握し必要があれば、全職員も周知のうえ保育中の運動面や衛生面での見守りの配慮をしている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

V-3 健康及び安全の実施体制

V-3-(1) アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	第三者評価結果
	A

<p>良い点／工夫されている点： 食物アレルギーについて、保護者、担任、栄養士が懇談を行い医師の指示書の下、メニューのチェックと調理法、除去食品の確認を行っている。注意を要する子どもには、調理室で色を変えたトレーに名前プレートを付け栄養士さんに給食をもらい、園長、主任が確認し間違いのないよう配慮している。除去食の必要がなくなった場合は解除申請書の提出で安全の確認を明確にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-3-(2) 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 自園調理の為、調理室の細部に亘っての衛生管理などをマニュアルにしたがって行っている、食中毒発生時の体制も整備し常に予防に努めている。水を含む衛生自主点検、食品の搬入時のチェックも毎日行い調理員は衛生研修を受け職員会で報告、周知を図っている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

評価対象VI 保護者に対する支援

VI-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
<p>VI-1-(1) 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 給食だより、献立表を家庭に配布しブログを通して給食やおやつレシピの紹介をしている。保護者への給食試食会を行い園児の食事風景の参観をしてもらい、園が食育に取り組んでいることへの理解と食への関心を高めている。試食会後にアンケートをとり、保護者からの食に対する相談、要望に応じている。献立表を家庭に配布し、給食だよりなどでレシピ紹介、クラス通信で食育に関したことを記載している。玄関には給食の内容を展示して食への関心が高まるように努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(2) 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。</p>	A
<p>良い点／工夫されている点： 毎日の送迎時に保護者とのコミュニケーションをとり、家庭との連携を図っている。気になることがあれば送迎の際に保護者に声掛けをすることで保護者支援のきっかけ作りをしている。必要があれば園長に伝え面談をするなどの支援をしている。 園だより、クラスだより、食育だより、交通安全だよりの他、習字教室の通信、教育アドバイザーのたよりなどで、園での子どもの様子を常に家庭に伝え続け保護者の子育てアドバイスや、子育ての喜びを共有し支援している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>VI-1-(3) 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。</p>	A

常に保護者とのコミュニケーションに心がけ、悩みや育児の不安の相談を受けている。重要な問題があれば職員室に通して園長が対応している。毎日の送迎時、参観日や親子活動の機会を利用し会話をすることで子育ての相互理解の場としている。	
改善できる点/改善方法：	
VI-1-(4) 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	A
良い点/工夫されている点： 子どもの仕草や言動から、子どもの変化を読み取るよう努めている。児童虐待の研修を受け、復命を兼ねた報告を園内で行い虐待の早期発見、不適切な養育の把握に努めている。不適切な養育懸念がある場合は全職員周知のもと関係機関とも連携をとり適切に支援をしている。	
改善できる点/改善方法：	

評価対象Ⅷ 個別サービス着眼点（岐阜県独自項目）

Ⅶ-1 安全管理面でのサービス

	第三者評価結果
Ⅶ-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。	A
良い点/工夫されている点： 登降園時は職員が玄関に立ち子どもの安全を見守っている。通常門は鍵をかけ安全を図っている。園周りからの侵入に対し保育室や職員室から見通しが良く、職員は常に外部からの侵入者の有無に注意をはらっている。定期的に不審者対応訓練をするなどマニュアルを整備して実施している。外部からの侵入に対して職員が共通理解の下、子どもを安全に避難させるために更に訓練の強化を図ることに努めている。	
改善できる点/改善方法：	

Ⅶ-2 保護者とのコミュニケーション

	第三者評価結果
Ⅶ-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。	A
良い点/工夫されている点： 行事毎にアンケートを取り保護者の要望で行事日程を工夫し参加しやすくしている。地域がら、祖父母との同居が多く育児支援して頂けるので参観日の参加は多い。親との会話の中から意見を聴き、働いている保護者が参加しやすい方法を取るようになっている。	
改善できる点/改善方法：	
Ⅶ-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。	A
良い点/工夫されている点： 保護者会活動に保育園の施設を提供している。「岐南さくら南保育園なら役員をやりたい」と保護者から積極的に園に申し出て頂ける状況になっている。卒園をしていった親子の同窓会を園主催で行っている。卒園してからも懐かしさと地域の保育園を盛り立てて行きたい思いが育っている。	

改善できる点／改善方法：

Ⅶ－３ 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
Ⅶ－３－（１） 保育所・幼稚園・小学校との連携した取組を行っている。	A
良い点／工夫されている点： 園児が就学する地区内の小学校と授業を通して交流している。学校の授業の一環で一年生が入学案内状を持って園を訪問、一人ひとりに手渡し一緒に遊ぶなど交流をしている。園のブログに学校の先生からコメントが書き込みされるなど連携がある。就学前の懇談等を行い、学校生活に移行できるよう図っている。更に小学校を見通した教育の連続性を保育の面に強化していく予定である。	
改善できる点／改善方法：	